

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・健康			17717	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石田 伸子	選択	2	私立幼稚園教員			

## 授業の到達目標

教育要領には「見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる」のが終了時の具体的な姿として示されている。幼児期に身につけるべき、心と身体の健康に関する内容が理解できること。また、実際に体を動かすことの楽しさ・心地よさを体験し、発達に応じた幼児の運動遊びの指導法を身につける。このクラスではKAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とA（自律）を養う。

## 授業の概要

毎日の生活を満足感を持って楽しく充実して過ごすには健康が基本になる。健康であるということは生活上すべての活動の基本となることである。基本的な生活習慣の自立への指導から、健康な身体作り・健康管理・安全教育など、幼児自ら心身ともに健康な生活ができるようになるには何が必要か、発達の段階を踏まえて学習する。

## 授業計画

- 1 健康とは何か
- 2 子どもの身体の発育・発達
- 3 乳幼児期の運動
- 4 乳幼児期の安全教育と病気の予防
- 5 運動遊び(実技)①(縄、新聞紙、ボールなどを使った遊び等)
- 6 運動遊び(実技)②(大縄、フープを使った遊び、用具を使わない運動遊び等)
- 7 運動遊び(実技)③(運動用具一平均台、跳び箱、マット等を使った遊び等)
- 8 乳幼児期の生活習慣の形成
- 9 乳幼児期の遊びと運動
- 10 乳幼児期の生活と食
- 11 領域「健康」の理解と指導法
- 12 領域「健康」をめぐる現代の諸問題
- 13 指導計画作成から保育へ①
- 14 指導計画作成から保育へ②
- 15 学習した内容のまとめとテスト

## 授業の方法

テキストに添って講義を進めるが、事例を多くとり入れ、理解しや

すいようにする。ディスカッションや実技を取り入れ、主体的に体得していただけるようにする。

## 準備学修

Webで参照すること

## 課題・評価方法、その他

グループ発表後は、教員によるフィードバックを行う。実技の積極性、動きなどを評価する。平常点60% 定期試験40%とする。

## 欠席について

欠席数は成績評価に反映する

## テキスト

演習 保育内容「健康」 基礎的事項の理解と指導法一  
川邊貴子・吉田伊津美編著 建帛社

## 参考図書

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

## 留意事項

実技①②③は、運動しやすい服装（名前がわかりやすい名札あるいはゼッケンをつけること）・体育館シューズ・新聞紙・縄跳び用縄を持参のこと。場所は未定。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・環境			17721	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士			

## 授業の到達目標

近年の社会の変化にともなって、子どもを取り巻く様々な環境も従来とは変わり続けている。この現状をしっかりと受け止め、子どもを取り巻く環境のあり方や保育者の役割を理解する。環境が成長過程に影響することが理解でき、その時期にふさわしい環境の構成あるいは環境の取り入れ方が分かるようになる。幼児に影響を与える人的環境としての保育者が大きな存在となることを踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

## 授業の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の領域「環境」に「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」と述べられている。子どもたちが園内外の「自然・文化・人・もの・事象・文字・記号」などに自ら触れ、生きる力を育む直接的体験を積み重ねられる環境を準備するために、保育者自身が様々な環境に対し興味や関心をもち理解し、子どもの主体性を引き出す為どのような環境づくりをしていけばいいのか、指導案作成と模擬保育等を通して、保育者自身も常に主体性を持って環境について学び、専門的な能力を身につけていけるようにする。

## 授業計画

- 1 保育と「環境」
- 2 領域「環境」とは
- 3 子どもの育ちと領域「環境」(DVD視聴「子どもを育む保育の環境」)
- 4 教室を出ての実際体験とグループワーク
- 5 子どもを取り巻く自然環境
- 6 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち(DVD視聴「動物を知る」)
- 7 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち
- 8 子どもを取り巻く人的環境
- 9 子どもを取り巻く物的環境
- 10 子どもの活動をひきたす保育環境(数量・図形・文字・標識に対する感覚)
- 11 子どもの活動を引き出す保育環境(教室を出て実際体験、DVD 視聴)
- 12 子どもを生きる力を育む環境  
子どもを取り巻く社会的環境
- 13 環境を通じた保育の内容・教材研究

- 14 子どもを守り育てる環境  
気になる子どもと環境
- 15 環境を通じた教育・保育の現在の課題 まとめ

## 授業の方法

講義を中心にし、内容に沿ったDVD視聴や事例の中から、グループで話し合ったり意見発表を多く取り入れる。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%。  
レポートの提出や振り替えりテストなどについて講義の中でフィードバックを行う。

## 欠席について

欠席数は成績評価に反映する

## テキスト

「保育内容 環境 あなたならどうしますか？」岡澤陽子、杉本裕子、平野麻衣子、松山洋平、山下文、萌文書林

## 参考図書

保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説 フレーベル館  
3,4,5歳児が夢中になる実践「造形遊び」 平田智久監修 ナツメ社  
あそびうた大全集 永岡書店

## 留意事項

教室を出ての実際体験等を含むので、授業計画が変更する可能性がある為、授業課前のボードをよく注意して見ておくこと

## 教員連絡先

shibuya@kaisei.ac.jp

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。